

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄			評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 室内騒音レベル									
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音									
2 温熱環境									
2.1 室温制御									
1 室温									
2 外皮性能									
3 ゾーン別制御性									
2.2 湿度制御									
2.3 空調方式									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
3.2 グレア対策									
1 昼光制御									
3.3 照度									
3.4 照明制御									
4 空気質環境									
4.1 発生源対策									
1 化学汚染物質							3.0		
4.2 換気									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4.3 運用管理									
1 CO ₂ の監視									
2 喫煙の制御									
Q2 サービス性能						0.43			3.0
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
1.2 心理性・快適性									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース							1.0		
3 内装計画									
1.3 維持管理									
1 維持管理に配慮した設計									
2 維持管理用機能の確保									
2 耐用性・信頼性					2.6	0.50			2.6
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能					3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数					2.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.20			
2.4 信頼性					1.6	0.20			
1 空調・換気設備					3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20			
3 電気設備					1.0	0.20			
4 機械・配管支持方法					1.0	0.20			
5 通信・情報設備					1.0	0.20			

3	対応性・更新性			3.5	0.50	-	-	3.5
	3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり	将来用途の変更および空間の形状変更しやすよう配慮		5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	将来プランニングを変更しやすいうにの自由度が高い計画とした		5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性			2.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-	2.2
1	生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1	エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	LED照明設備を採用することで、消費エネルギーの削減に配慮		4.5	0.63	-	-	4.5
	集合住宅以外の評価			4.5	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			2.0	0.25	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制			1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1 モニタリング			-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1	水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	自動水栓及び節水型便器を採用		4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材等が容易に分別可能とし、資材の有効活用に配慮		4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			4.4	0.20	-	-	4.4
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			5.0	0.70	-	-	
	1 消火剤			-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤不使用		5.0	1.00	-	-	
	3 冷媒			-	-	-	-	
LR3	敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率71%		4.1	0.33	-	-	4.1
2	地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.3	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減			3.0	0.33	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
	3 交通負荷抑制			-	-	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33	-	-	
3	周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1 騒音			3.0	1.00	-	-	
	2 振動			-	-	-	-	
	3 悪臭			-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告物照明無し		4.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0	-	-	1.0	-	-	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	-	-	1.0	3.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0	1.0	1.0	2.0	3.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -
3.1.1 昼光率	昼光率 0.0%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 0.0%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 6.0㎡/人 病床 8.0㎡/床 シングル 15.0㎡ ツイン 22.0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 30.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 0 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 5.1 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 7.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 10% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 19% 水平投影面積率 0% 地表面対策面積率 10% 舗装面積率 8%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱性能等級 対象外 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 - MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 - 通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW
3 設備システムの高効率化 非住宅部分 集合住宅の評価	BEI/BEI _m 再エネ有 0.37 無 0.37 オフサイト再エネ有 0.30 - 一次エネ削減率 再エネ有 無 -
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 55% 隣棟間隔指標R _w 0.55 地表面対策面積率 10.0% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積S _b 1,097㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 96 m 基準高さH _b 20.7 m 緑地 568㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡